

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>知・徳・体の調和のとれた、地域で活躍できる人材を育成する学校 探究的な学習活動や学校行事、部活動を通じて全人教育を行い、大学進学をはじめとする生徒一人一人の希望進路実現を図り、地域社会に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>1 自立的に行動し、判断できる。 2 物事を多面的に探究できる。 3 礼節を重んじ、他人を思いやる。 4 高い社会性を持ち、地域で活躍できる。 5 周りとの協働し、課題解決を進める。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>1 観点別評価を実施し、生徒一人ひとりの良い点を伸ばす。 2 総合的な探究の時間を通じて、地域の課題と向き合う。 3 主体性・創造性・他者理解・批判的思考力・構想力・見通す力・コミュニケーション力・自己調整力の8つの 資質能力を培う魅力ある教育活動を実践する。</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>1 志を高く持った人 2 知的好奇心に富む人 3 主体的に行動できる人 4 社会貢献の意識が高い人 5 学力優秀である人</p>

学校運営計画(4月)			評価 (総合)
学校運営方針	年度重点目標	具体的目標	
<p>「質実剛健」の校訓の理念に基づき、「知徳体」の調和のとれた地域で活躍できる人材の育成を目指す。また、目指す生徒像を、「志の実現のために、学び、挑み、和を尊び、社会に貢献できる人物」とし、昨年度は、年度重点目標は概ね達成できた。しかしながら、細かくみると各行事及び取組について新しい視点での対応が求められており、分掌間で十分なコミュニケーションをとりながら、大胆に教育課題に取り組むことによって、更なる魅力化、特色化につなげていきたい。</p>	<p>目標や理念を全職員で共有し、すべての教育活動で具現化する。</p>	<p>全ての教育活動(各教科・科目、ホームルーム活動や総合的な探究の時間、学校行事等)で具現化を目指す。</p>	
	<p>ICTを活用し、常に授業改善や評価と指導の一体化を図り、教科指導力を向上させる。特に、「個別最適な学び」の実現を図る。</p>	<p>全ての生徒の学力を向上させることに加え、習熟クラス・特進クラス等の成績上位者に対する3年間の育成法を確立する。</p>	
	<p>八女高の役割や実践を地域と共有し、地域から期待される、信頼される学校をつくる。</p>	<p>保護者や地域の本校に対する教育的ニーズを的確に把握し、その期待に応えることにより地域から信頼され、更に期待される学校をつくる。</p>	
	<p>外部資源(外部講師招聘、地域・県・国の取組への積極的参加、関係団体との連携)等を活用して幅広い見方・考え方を育成する。</p>	<p>外部講師の積極的な招聘、地域・県・国の取組への積極的な参加、関係諸団体との連携などを積極的に行うことにより地域と一体となった教育活動を展開する。</p>	
	<p>週34単位制による「確かな学力」を養成する。(余裕ある週34単位制を活用した有効なカリキュラム編成により、効果的な指導を行う。</p>	<p>週34時間制を活用したカリキュラム編成により効果的な指導を行い、放課後課外授業においてレベルの高い学力を保障し、自学の時間の確保させるなど時間管理を意識させる。</p>	
	<p>「師弟同行」を基本とし、「楽ではないけど楽しい学校」をつくる。</p>	<p>教職員の支え合いや助け合いなどにより働きやすい環境をつくる。</p>	
	<p>本校が育成する8つの資質・能力(『主体性』『創造性』『他者理解』『批判的思考力』『構想力』『見通す力』『コミュニケーション力』『自己調整力』)を広報し、学校の目標や役割を地域と共有する。</p>	<p>それぞれの育成する資質・能力と授業内容、行事等を明確に結びつけることにより授業の質、行事の質の向上を図るとともに広報活動においては、これらの資質・能力を生徒自身が最大限PRできるものとする。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務	授業改善を推進し、グランドデザインで挙げられている「8つの資質・能力」の育成を図る。	<p>新学習指導要領の趣旨を踏まえ、3観点による観点別評価を確実に実施し、授業改善につなげる。</p> <p>単元(学習内容のまとまり)ごとに学習の振り返りを行い、主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、授業改善につなげる。</p> <p>考查問題の質を向上させ、共通テストの傾向を踏まえた問題も加えながら、定期考査の学習が学力の向上につながるようにする。</p>	授業アンケート 学校満足度調査	
	生徒の自学力を高め、家庭学習を質・量ともに充実させる。	<p>各教科において、シラバスを活用して学習の目的、内容、学習方法、評価の観点についてのガイダンスを2回以上行い、主体的に学習に取り組む態度を育成する。</p> <p>ホームルーム活動の時間を活用し、学習方法や学習計画について考えさせ、学習の自己調整力を身につけさせる。</p>	授業アンケート	
企画広報	在校生・中学生・保護者・同窓会・地域社会に対する広報活動を充実させ、魅力的な八女高校の姿を発信していく。	<p>中学生体験入学の内容をさらに充実させ、中学生・保護者に対し、本校教育活動への理解を図る。</p> <p>中学校での進路説明会において、本校および本校生の魅力をアピールし、本校の広報活動に努める。</p> <p>魅力ある「八女高だより」(年3回発行)や看板・横断幕を作成したり、ホームページやSNSを活用したりすることで、生徒募集につなげる。</p>	中学生体験入学アンケート	
	教職員間や保護者との連携を促進しながら活動を支援し、諸行事の円滑な遂行を図る。	<p>各分掌との打ち合わせを密にし、学校行事等が円滑に運営できるよう支援する。</p> <p>職員・PTA役員・保護者間の連携を密にし、PTA活動が充実するよう支援する。</p>	学校満足度調査	
生徒指導	適切、的確な言動を実践できる自主・自律した生徒の育成	<p>在学中に成年年齢に達することを踏まえ、学校生活内外での教育活動を通して、ルールやマナーの大切さを理解させ、規範意識を向上させる。</p> <p>生徒会活動や各種委員会活動、学校行事の運営に、生徒一人ひとりが積極的に参加できる環境を整える。</p> <p>希望進路実現に向けて、基本的な生活習慣や家庭学習時間等を確立させ、タイムマネジメントスキルを育成する。</p>	学校満足度調査	
	謙虚で直向きな姿勢で物事に取り組み、思いやりや感謝の心を持つ共感的な生徒の育成	<p>授業や清掃活動等、日々の学校生活に真摯な態度で臨ませることにより、生徒間・生徒教師間の信頼関係を構築させ、謙虚・感謝の心を育成する。</p> <p>「立ち止まって挨拶」「校門一礼」を奨励し、感謝の心を育み、相手に伝わる心のこもった挨拶ができる生徒を育成する。</p> <p>部活動を通して自己指導能力や人間形成を図るため、部活動加入率80%以上を目指す。また、部活動等における上位大会出場を目指す。(九州大会以上…5部、県大会…12部)</p>	学校満足度調査	
	安心・安全な環境を整える安全管理	<p>交通マナーの意識を向上させ、交通事故「0」を目指す。特に、バイク通学者、バイク免許取得者、自転車通学者に対して、加害者側の可能性も含めた指導を行う。</p> <p>人権教育やいじめについて、日々のホームルームや集会等を通して、相手の立場や気持ちをくみ取り、尊重することを学ばせ、自他を大切に思いやりの心を育成する。</p> <p>部活動や学校行事における事故・ケガの防止や早期対応のための能力を育成する。また、不審者情報の速やかな提供等、危機管理マニュアルの活用により安全対策を図る。</p>	<p>学校生活アンケート</p> <p>「いじめ」に関するアンケート</p> <p>家庭用チェックリスト(保護者用)</p> <p>学校満足度調査</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
保健	生徒の心身の健康の保持増進	<p>学校保健安全の行事や活動をととして、心身の健康に関係を持ち、正しい知識を学び、自ら行動できる能力の育成と実践力の向上を図る。</p> <p>担任からの相談や学年会等での事案については連携して対応する。また、教育相談委員会を定期的に開催し、「気になる生徒」や「配慮を要する生徒」に関する情報を職員間で共有し、対応について協議を行い、その対策については、学校全体で組織的にあたる。</p> <p>スクールカウンセリングや健康教育推進事業(性と心の健康相談)、訪問相談等を計画的に実施し、学校医やSC、SSWの指導・助言を受けながら、関係職員や関係機関と連携し生徒や保護者の支援に当たる。</p>	学校満足度調査	
	学校安全及び環境衛生の整美	<p>生徒のけがや病気に対する、適切な処置と対応を行う。</p> <p>学校管理下において学校薬剤師の指導を仰ぎながら、学校環境衛生検査の実施報告を行い、環境衛生の整備に努める。</p> <p>「美化充実期間」や学校行事前後など、計画的に清掃活動を強化・点検し、清掃の徹底を図る。</p>	学校満足度調査	
	委員会活動の活性化	<p>生徒が活動できる場と環境をつくる。</p> <p>委員会活動をととして、個々の潜在能力を生かし、主体的に行動できる生徒育成を目指す。</p>	学校満足度調査	
キャリア教育	生徒の社会性・自己肯定感を高め、早期からの進路意識の高揚を図る。	<p>生徒の進路意識を高めるために、「進路講演会」や「進路ガイダンス」をはじめとする進路関係行事を計画的に企画・実施し、生徒を積極的に参加させる。</p> <p>「総合的な探究の時間」はキャリア教育の視点、及び、大学進学・公務員就職での活用の視点を持ち、1年次に「進路探究」、2年次に「ちきゅうみらいプロジェクト(仮称)」を取り入れ、主体的に自分の進路について考えさせる内容にする。</p> <p>生徒の進路希望を的確に把握するために、各学期1回の進路希望調査を行う。また、生徒のキャリア意識の形成を図るために、各学年と提携して「ポートフォリオ」、「キャリア・パスポート」を記入させる。</p>	<p>学校満足度調査</p> <p>ポートフォリオ</p> <p>キャリア・パスポート</p>	
	課外・長期補習・土曜セミナーの更なる充実を図り、生徒の基礎学力の伸長を図る。	<p>生徒の進路希望実現を図るために、また、新課程入試に応じるために課外授業・長期補習・土曜セミナーを効果的に実施する。</p> <p>公務員試験を受験する生徒の進路希望実現を図るために、2年生2学期期末考査後からの公務員課外や公務員専門学校と連携した公務員専門科目・面接対策を企画・実施する。</p>	<p>学校満足度調査</p> <p>進路実績</p>	
情報	1人1台端末を授業や家庭学習に活用できるよう、教員のスキルアップを図る。	<p>校外での活用事例を収集し、それを閲覧する環境や研修を企画する。</p> <p>教員とICT支援員とのパイプ役を担い、授業へのICT活用について相談しやすい環境をつくる。</p>	学校満足度調査	
	校務支援システムや各種業務のCT化について、業務のスリム化に繋げると共に、誰でも扱えるようにする。	<p>校務支援システムについては、教務・進路・保健等の各担当者が業務に取り組めるようなシステム設定やサポート体制を確立する。</p> <p>Google ClassroomやFormsなどの活用については、各担当者が実務を担えるようなマニュアル作成等のサポート体制を充実させる。</p>	なし	
	スタディサプリ活用の更なる充実を図る。	<p>1人1台端末を使ったスタディサプリの利用を通して、更なる活用を推進する。</p> <p>個別最適化された学びの実現に繋げるため、到達度テスト・運動課題配信・外部模試等の連携を見直し、スタディサプリの活用を促進する。</p>	学校満足度調査	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等	
研修	教員のキャリアとニーズに応じた研修の充実を図る。	「Find! アクティブラーナー」を活用し、職員一人一人のキャリアやニーズに応じて研修ができるような環境を整える。 「Find! アクティブラーナー」の視聴による個人研修の成果を授業改善シートに記入し、学校全体で共有する場を職員研修で設け、組織的な授業改善を図る。	なし		
	年間を通じたマネジメントサイクルを取り入れることにより、組織的な授業改善を推進する。	学校独自の授業改善シートを活用することにより、マネジメントサイクルに基づいた授業改善を推進する。 Google Formsを活用して授業アンケートを実施し、それぞれ、取り組み指標及び検証指標の作成、成果と課題分析のための情報収集の支援を行う。 相互授業参観期間を設け、研究授業や授業の相互参観を推進し、実践・参観・協議を通して、授業改善を図れるよう支援する。	授業アンケート		
	第1学年経営	八女高生としての基本的な生活習慣を確立させ、人間力と社会性の基盤を育成する。	八女高生としてふさわしい服装・頭髪、心のこもった挨拶や場に適した言葉遣いができるように、共通認識のもと全員で日常的に一貫した指導を行うとともに、公共の場のルールやマナーを遵守させることで規範意識を高める。 部活動への加入を奨励し、集団内での人間関係構築力やコミュニケーション力を養成する。	学校満足度調査 部活動入部実績	
		進路実現のために意識を向上させ、基礎学力の定着を図る。	個別最適な学びを通して基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、粘り強く主体的に学習に取り組む態度を育成する。 学校生活全体を通して将来の在り方・生き方について考え、主体的に意思決定・行動選択ができる能力を育む。	学校満足度調査 進路希望調査	
第2学年経営	素直・努力・協働の涵養を図り、人間力の基盤を育成する。	二者面談や日常の対話を通して生徒理解に努め、保護者との連絡を密にすることで信頼関係を構築し、問題の早期解決に努める。 講演や活動などの様々な体験を通して、他者の個性や考えを尊重しながら高めあう雰囲気醸成する。	学校満足度調査 学校生活アンケート		
		基本的な生活習慣を確立させ安易な遅刻・欠席をせず、全教育活動を通して粘り強く努力が出来る、心身ともに逞しい生徒の育成を目指す。 「凡事徹底」一つひとつ着実に努力を重ね、何事も自分のこととして受け止め、よりよく解決するために自分が取り組もうとする主体性を育み、協働性を高める。	学校満足度調査 学校生活アンケート		
	自己の在り方生き方を常に問い続け、学びの基盤となる資質・能力を育む。	「総合的な探究の時間」をはじめとするあらゆる授業の探究活動を通して、自己の在り方・生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決に向けて主体的に取り組めるよう、外部機関や地域社会との連携を目指す。 生徒一人ひとりが個性や能力を発揮できる個別最適な学びを実現し、上位層、中位層、下位層のそれぞれ目的に見合った「確かな学力」を着実に定着させられるよう学級経営および教科指導に工夫を凝らす。	学校満足度調査 進路希望調査		
	学校生活を通して自他の良さに気付かせ、生徒の自己肯定感を高める指導を行う。	「楽ではないけど楽しい学校」の実現および、中堅学年としてのリーダーシップおよびフォロワーシップを育むために、適宜学年行事を企画し、年間を通して生徒相互のリレーションシップの向上を目指す。 学校行事やボランティア活動などに積極的に参加させるとともに、外部機関と連携し講演や活動などの様々な体験を通して、自他の良さに気付かせ、生徒一人ひとりの強みを引き出し、伸ばすことができるようにする。	学校満足度調査 学校生活アンケート		

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
第3学年経営	成年を迎えるにあたり、社会を生きぬき、社会に貢献する逞しい生徒を育成する。	進路実現を目指す学習過程を通して、自らの課題を明らかにする「課題発見力」、将来に見通しを持つ「計画力」、自らの未来を実現していく「創造力」を育成する。	学校満足度調査	
		コミュニケーションの能力向上のため、心のもった挨拶や場に適した言葉遣い「発信力」と相手の意見を理解しようとする「傾聴力」を育成する。	学校生活アンケート	
	高い志を持った進路目標を掲げ、進路実現に必要な学力を身につける生徒を育成する。	第一志望合格に向けて、二者面談期間、「総合的な探究の時間」、空き時間等を活用し、個に応じた適切な進路指導(情報提供)を行い、進路意識を高めさせる。	学校満足度調査	
		早期・居残り学習や休日登校、隙間時間の有効活用を奨励し、自ら学習時間のコントロール(タイムマネジメント)を行い、自主学習時間を定着させる。	進路希望調査	
	生徒・保護者・学校で信頼関係を深め、共感的人間関係を形成する。	面談や日常の対話を通して、生徒理解に努め、保護者との連絡を密にすることで信頼関係の構築を図る。	学校保健委員会調査	
		学年と教科担当者、保健室の連携を十分に図り、全職員で生徒の把握に努める。	保護者用いじめアンケート	
事務	電話対応・来客接遇の向上を図る。	電話対応や来客対応において、相手の立場に立った丁寧な対応を心掛け、接遇の向上に努める。	学校満足度調査	
	施設・設備の適切な維持管理を行う。	定期的に校内巡視を行い修繕等必要な箇所等を把握するとともに、必要に応じて予算要求を行い適切な施設の維持管理に努める。	なし	
	効果的な予算執行を行う。	職員に対して節電、用紙の節約等呼び掛けることで経費の節減を図り、教育活動充実のための効果的な予算執行に努める。	なし	